

グレート・ミュージアム ハプスブルク家からの招待状

2020 年 1 月 24 日 [金]

[1] 15:30 - 17:10 (開場 15:00)

[2] 18:30 - 20:10 (開場 18:00) ◎日本語字幕 98分

国立西洋美術館 講堂 (企画展示館地下 2 階)

各回定員 130 人

※ 当日、各回の開演 1 時間前より本館 1 階東口付近にて整理券を配付いたします。
場所が不明な場合はインフォメーションでお尋ねください。おひとり 1 枚まで。

開催中の「ハプスブルク展」の
チケットが必要です。(半券可)*

*過去にご観覧された半券でも上映会の参加は可能ですが、
「ハプスブルク展」の展示室へはご入場いただけません。
展示をご観覧される場合はチケットをお買い求めください。

開催中のハプスブルク展に合わせて、映画『グレート・ミュージアム ハプスブルク家からの招待状』の上映会を行います。
ウィーン美術史美術館を舞台としたドキュメンタリー映画です。展覧会と合わせてお楽しみください。

◆ 当日のハプスブルク展は 20:00 で終了となります。2 回目の上映終了後は展示をご覧いただけませんので、事前のご観覧をおすすめいたします。



©2014 Navigator Film Production

芸術の都ウィーンが誇る“偉大なる美術館”——ウィーン美術史美術館。 そこで繰り上げられる、誰も見たことがない“美の裏側”

ハプスブルク家の歴代皇帝たちが蒐集した膨大な数の美術品を所蔵する
ウィーン美術史美術館は 1891 年にフランツ・ヨーゼフ 1 世の命により開
館された。収蔵作品は、クラナハ、フェルメール、カラヴァッジョ、ベ
ラスケスなどの名画から絢爛豪華な美術工芸品まで多種多彩。なかでも傑
作「バベルの塔」をはじめとしたブリュゲル・コレクションは世界最多
を誇る。

創立 120 年の節目に取り掛かった大規模な改装工事に 2 年以上にわたり
密着した製作陣は、豪奢な天井画や壁画などまるで宮殿のような豪華な装
飾とともに、美術品の収蔵庫、修復作業場、閉館後の館内や会議室など、
ふだん見ることのできない美術館の姿を虚飾のないカメラでとらえていく。
"偉大なる美術館"の裏側とそこで働く人々の姿を丁寧に描いた、芸術の世
界をたっぴりと堪能できるドキュメンタリー映画である。

監督・脚本：ヨハネス・ホルツハウゼン 製作：ヨハネス・ローゼンベルガー
共同脚本：コンスタンティン・ウルフ 撮影：ヨルク・ベルガー、アッティラ・ポア
2014 年製作 / 98 分 / オーストリア 原題：Das Grosse Museum
配給：スターサンズ、ドマ

ハプスブルク展

[企画展示室]

2019年10月19日(土) - 2020年1月26日(日)

開館時間 | 9:30 ~ 17:30 (金曜・土曜は 20:00 まで)

休館日 | 月曜日 (ただし、1月13日(月・祝)は開館)

12月28日(土) ~ 1月1日(水・祝)、1月14日(火)

◆ 展覧会公式サイト <https://habsburg2019.jp> [@habs2019](https://twitter.com/habs2019)



ディエゴ・ベラスケス《青いドレスの王女マルガリータ・テレサ》
1659年 ウィーン美術史美術館蔵 Kunsthistorisches Museum Wien

13世紀後半にオーストリアに進出後、同地を拠点に勢力を拡大し、広大な帝国を築き上げたハプスブルク家。15世紀以降は神聖ローマ皇帝の位を独占し、同家がオーストリア系とスペイン系に系統分化した 16-17 世紀には、後者がアジアやアフリカ、南アメリカにも領土を有したことにより、まさに「日の沈むことのない帝国」となります。ナポレオン戦争を引き金とした神聖ローマ帝国の解体後は、オーストリア帝国(1867年にオーストリア=ハンガリー二重帝国に改組、~1918年)を統治しました。数世紀にわたって広大な領土と多様な民族を支配し続けた同家は、まさに欧州随一の名門と言えるでしょう。

ハプスブルク家の人々はまた、豊かな財とネットワークを生かして、質量ともに世界屈指のコレクションを築いたことでも知られます。このうちオーストリアを拠点とし続けた同家本流による収集品の主要部分は、オーストリア=ハンガリー二重帝国「最後の皇帝」ことフランツ・ヨーゼフ 1 世肝煎りで 1891 年に開館したウィーン美術史美術館の礎となりました。オーストリアと日本の国交樹立 150 周年を記念する本展では、同館の協力のもと、絵画、版画、工芸品、タペストリー、武具など 100 点、5 章 7 セクションによって、そのコレクションをご紹介します。個性豊かなハプスブルク家の人々や、当時の宮廷生活の紹介も行いつつ、時代ごとに収集の特色やコレクションに向けられたまなざしのあり方を浮き彫りにしていきます。数世紀にわたってヨーロッパの中心に君臨した、帝室ならではの華麗なるコレクションの世界をご堪能いただければ幸いです。

夜間開室時間延長のお知らせ — 金・土は 20:00 まで! —

金曜・土曜は、常設展・ハプスブルク展(2020年1月26日まで)ともに 20:00 まで、毎月最終金曜日は常設展が 21:00 までご覧いただけます。週末の夜を美術館でゆったりとお過ごしください。

展示内容と関連した夜間イベントも開催しておりますので、作品の鑑賞と合わせてお気軽にご参加ください。

■ 休館日 ■ 常設展・ハプスブルク展(2020年1月26日まで) 20時まで

■ 常設展 21時まで・ハプスブルク展 20時まで

■ 夜間イベント開催日 ■ 常設展・ハプスブルク展 20時まで

*2019年12/28(土) ~ 2020年1/1(水・祝)は年末年始のため休館します。1/27(月) ~ 2/10(月)は館内整備のため休館となります。

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art

国立西洋美術館ではフランス近代の絵画・彫刻を中心とした「松方コレクション」を基礎とし、14世紀から20世紀半ばまでの西洋の美術作品の展示を行っています。

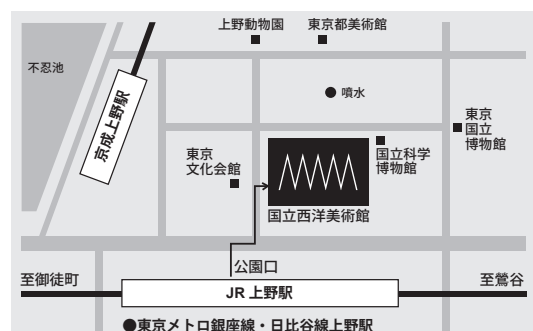
2016年7月、「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」の構成資産のひとつとして世界文化遺産に登録されました。

公式 Twitter: イベント
情報など発信しています

[@NMWATokyo](https://twitter.com/NMWATokyo)

[東京 上野公園]

〒110-0007 東京都台東区上野公園7番7号



JR 上野駅下車(公園口出口) 徒歩1分 / 京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分 / 東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車 徒歩8分
※ 美術館には駐車場はありません。

お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

国立西洋美術館ホームページ <https://www.nmwa.go.jp/>